

# 原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(令和4年12月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m<sup>3</sup>以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:97)
2. 調査実施時期 令和4年12月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査  
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査

## 4. 企業判断指数の算出方法

[ (回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%)) ]  
(最大値100/最小値-100)

## 5. 調査結果(回答工場数:88社 / 回答率:90.7%)

### 【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6
R4.3	<b>-45</b>	<i>-54</i>	<i>-56</i>	-	-	-
R4.6	-	<b>-15</b>	<i>-33</i>	<i>-50</i>	-	-
R4.9	-	-	<b>-8</b>	<i>-12</i>	<i>-24</i>	-
R4.12	-	-	-	<b>-2</b>	<i>-5</i>	<i>-14</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m<sup>3</sup>)

	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6
当年	159,675	175,573	178,480	-	-	-
(前年)	144,450	134,141	147,619	135,152	159,675	175,573
対前年比	111%	131%	121%	-	-	-

(概況)

原木在庫は引き続き前年を上回る状況。冬季出材により入荷順調の一方で、製材需要の減少に伴う在庫過多を見込む声がある。

(回答企業の主なコメント)

冬季出材を期待も確保は厳しい/不足感から解放/順調に入荷/入荷は今後増える見込み/供給過多になるのでは/高値で荷動き悪い/製材出荷減少に伴い原木過多の見通し/来春からの生産に向け不安あり/価格下落

### 【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6
R4.3	<b>35</b>	<i>26</i>	<i>5</i>	-	-	-
R4.6	-	<b>21</b>	<i>14</i>	<i>-10</i>	-	-
R4.9	-	-	<b>-10</b>	<i>-35</i>	<i>-42</i>	-
R4.12	-	-	-	<b>-47</b>	<i>-66</i>	<i>-63</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m<sup>3</sup>)

	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6
当年	209,572	239,256	240,410	-	-	-
(前年)	187,454	217,936	231,240	249,282	209,572	239,256
対前年比	112%	110%	104%	-	-	-

(概況)

原木消費量は前年度同等程度の状況。輸入材や住宅着工減少の影響で荷動きの悪化を指摘する声が増えている。

(回答企業の主なコメント)

春以降本州向けの荷動きが活発になる予想/住宅着工減により荷動き鈍い/在庫過多、値下げ圧強い/受注減少/年明け以降輸入材の影響悪化の予想/若干落ち込み始めている/円高もあり大きな需要減はない予想

### 【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6
R4.3	<b>-70</b>	<i>-76</i>	<i>-72</i>	-	-	-
R4.6	-	<b>-52</b>	<i>-65</i>	<i>-71</i>	-	-
R4.9	-	-	<b>-52</b>	<i>-54</i>	<i>-56</i>	-
R4.12	-	-	-	<b>-41</b>	<i>-33</i>	<i>-37</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m<sup>3</sup>)

	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6
当年	148,710	155,564	153,818	-	-	-
(前年)	242,886	206,179	175,588	132,958	148,710	155,564
対前年比	61%	75%	88%	-	-	-

(概況)

原木在庫は若干回復しているが、引き続き前年を下回る状況。合板需要の減少による入荷増を期待する声もある。

(回答企業の主なコメント)

冬季集材に期待/国有林価格が下がらない/入荷は厳しく需要に応えられるか不安/当分引き合いが強いまま/価格高止まりで下がる様子なし/在庫不足が深刻/合板需要低調により冬季に入荷する見込み

### 【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6
R4.3	<b>42</b>	<i>34</i>	<i>12</i>	-	-	-
R4.6	-	<b>44</b>	<i>29</i>	<i>0</i>	-	-
R4.9	-	-	<b>21</b>	<i>2</i>	<i>-17</i>	-
R4.12	-	-	-	<b>-27</b>	<i>-49</i>	<i>-45</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m<sup>3</sup>)

	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6
当年	212,331	220,003	211,933	-	-	-
(前年)	222,949	247,874	253,036	227,047	212,331	220,003
対前年比	95%	89%	84%	-	-	-

(概況)

原木消費量は前年を下回る状況。ラミナの需要や価格の低下を指摘する声が多い。

(回答企業の主なコメント)

ラミナ、梱包とも荷動き悪く、年明けも値下がりの予想/秋から顧客が在庫を積み増し、受注減/受注減少/ラミナ需要減少による梱包材への転換があるので/市況下落の実感がまだない/ラミナは年明けに値下げの話

# 道内の木材需給の見通し（令和4年12月調査分）

—令和5年1月公表—

北海道水産林務部林務局林業木材課  
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

**原木在庫・製品荷動き** 前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

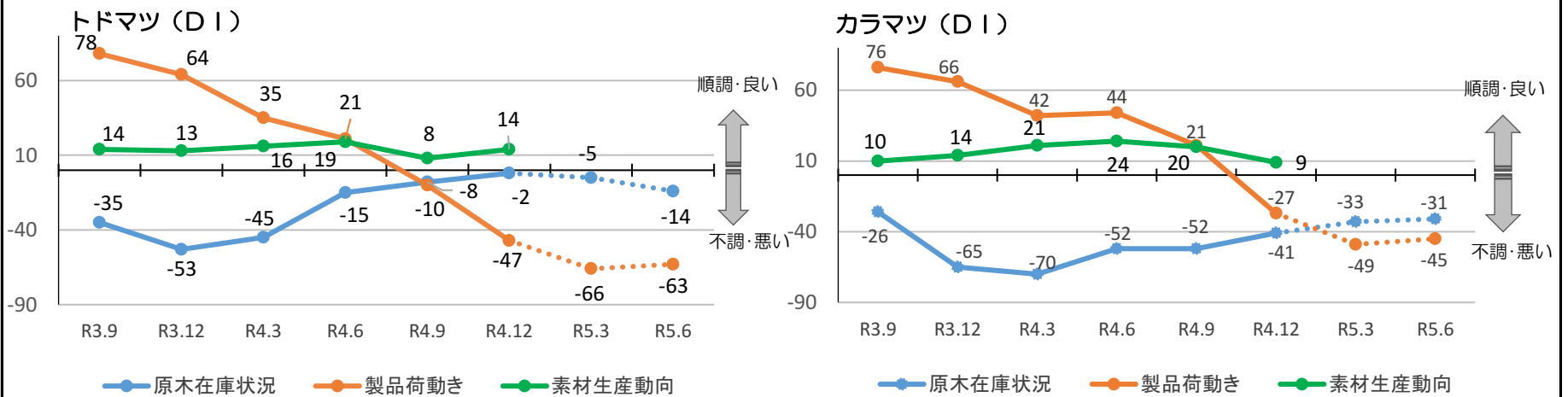
	《10~12月》	《1~6月見通し》		《凡例》
トドマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を上回っているが、1月以降は前年を若干下回る見通し。	《原木在庫》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年を上回るが、1月以降は前年を大きく下回る見通し。	
カラマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を下回っており、1月以降も前年を下回る見通し。	《製品荷動き》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年を下回り、1月以降は前年を下回る見通し。	

**素材生産動向** 前月と比較した林業事業体の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

	《10~12月》	《1~6月見通し》		《凡例》
トドマツ			○素材生産動向は、「順調」34%、「並み」55%、「不調」11%となっており、順調の見通し。	《順調》 《並み》 《不調》
カラマツ			○素材生産動向は、「順調」34%、「並み」49%、「不調」17%となっており、順調の見通し。	

**素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI**  
 ○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数  
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し

※「判断指数（DI）」＝（「順調・良い」とした比率（％））－（「不調・悪い」とした比率（％））

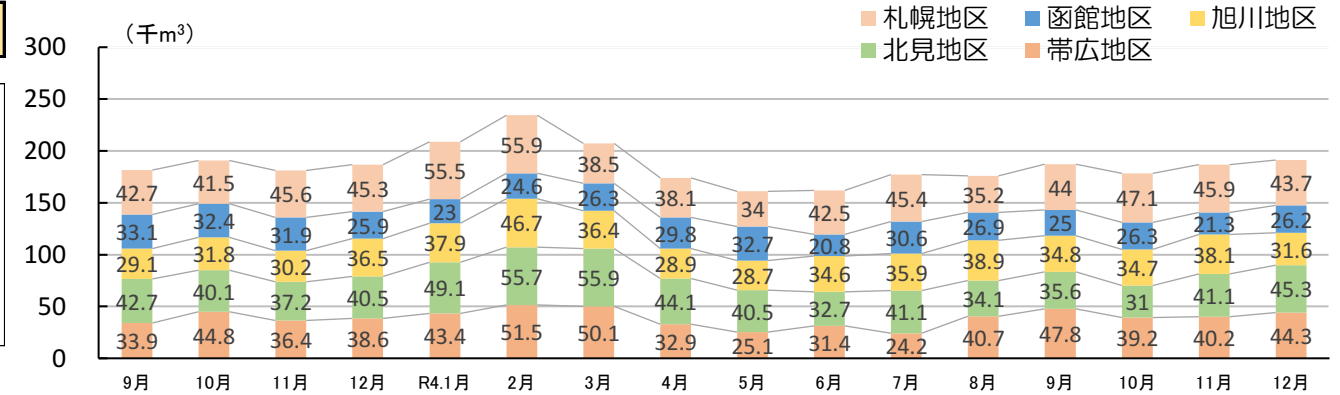


## 《参考情報》

注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

### 素材生産量の推移

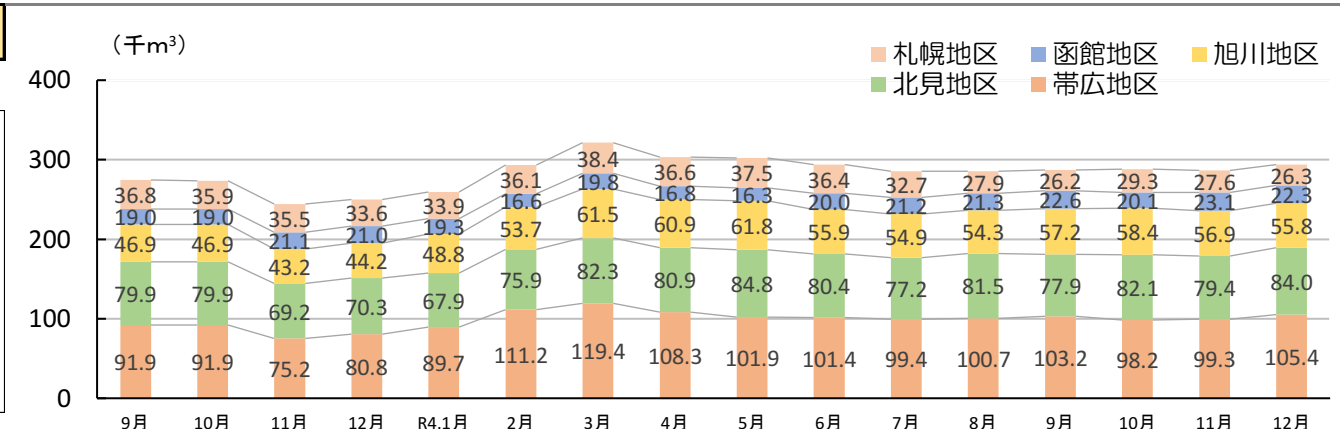
- 12月の素材生産量は前月比4.5千m<sup>3</sup>増の191.1千m<sup>3</sup>
- 1月は前月比0.4千m<sup>3</sup>減の190.7千m<sup>3</sup>の見通し  
札幌、旭川地区で増える見通し



出典：素材生産動向調査（北海道森林管理局）による

### 製材工場の原木在庫量の推移

- 12月のトドマツ原木在庫量は前年同月を上回り、原木消費量は前年同月を下回る見込み
- 12月のカラマツ原木在庫量は前年同月を上回り、原木消費量は前年同月を下回る見込み



出典：製材工場動態調査（北海道）による

注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でR4.10~12月は速報値でエゾマツを含む

素材生産と原木在庫・製品荷動きのDI (地区別)

○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し  
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

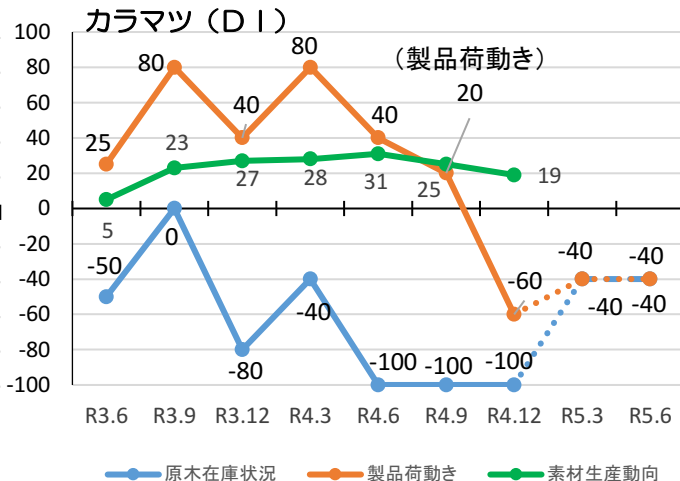
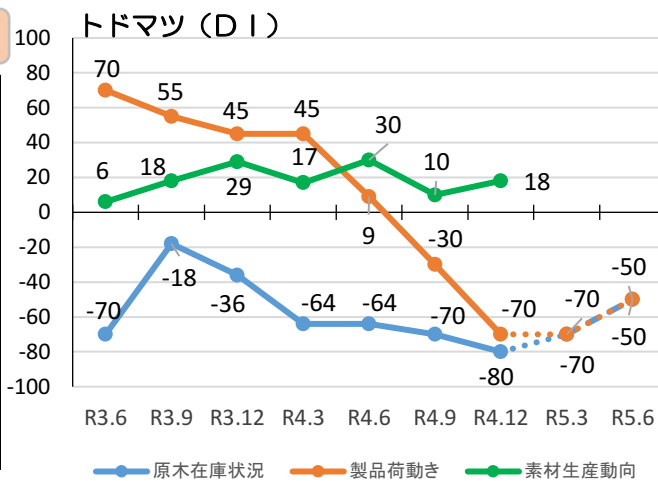
札幌地区 (石狩・空知・胆振・日高)

【トドマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を下回る見通し



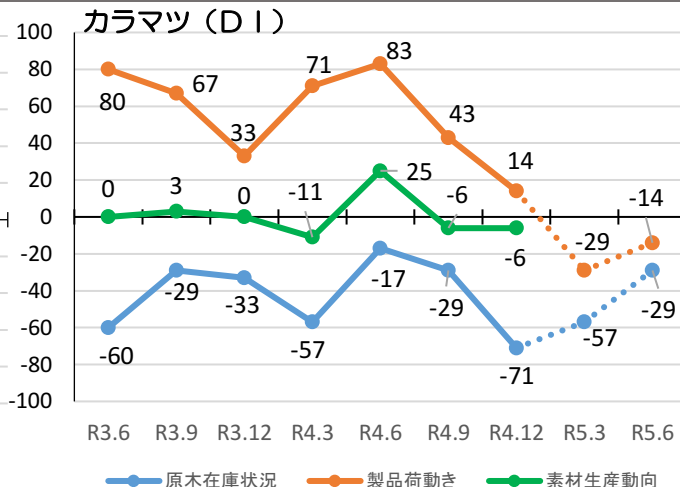
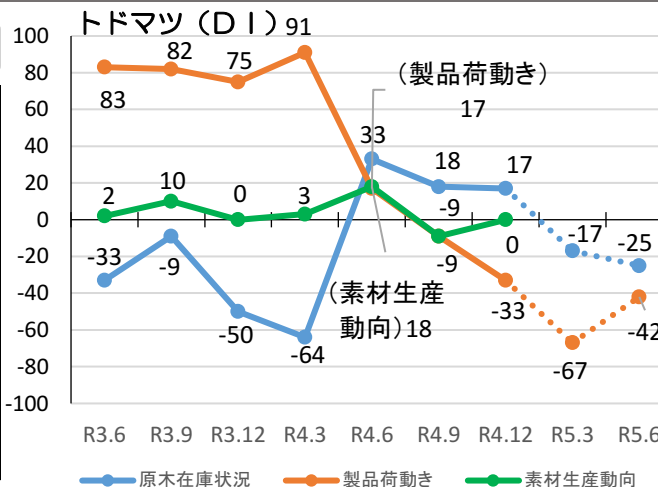
函館地区 (渡島・檜山・後志)

【トドマツ】

- ・素材生産は、前月並みの見通し
- ・原木在庫は前年を若干下回り、製品荷動きは前年を下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、不調の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を若干下回る見通し



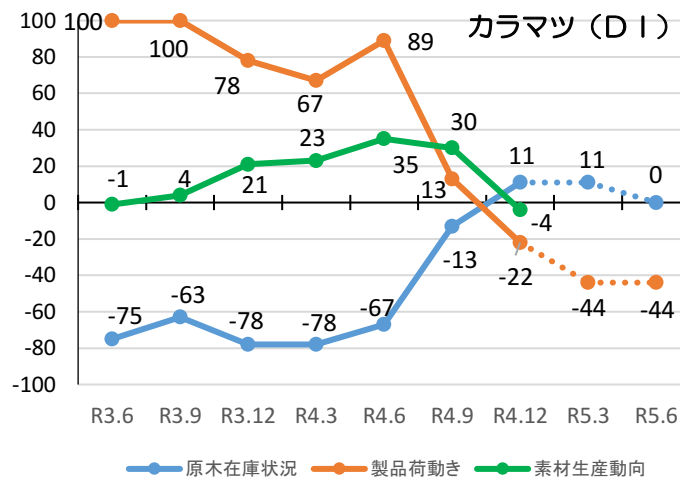
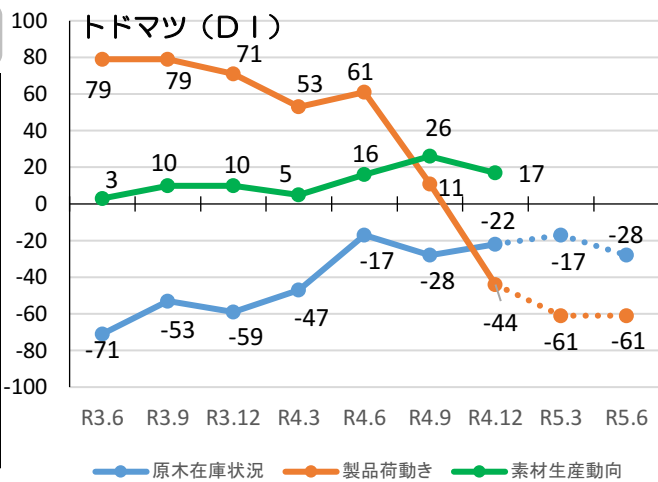
旭川地区 (上川・留萌・宗谷)

【トドマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、前月並みの見通し
- ・原木在庫は前年を若干上回り、製品荷動きは前年を下回る見通し



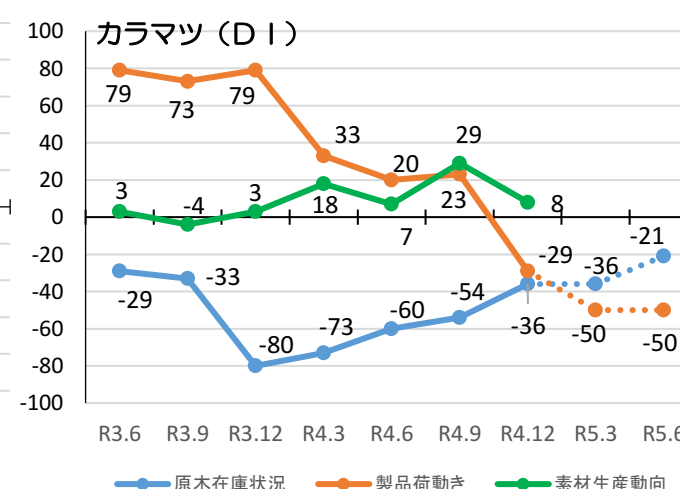
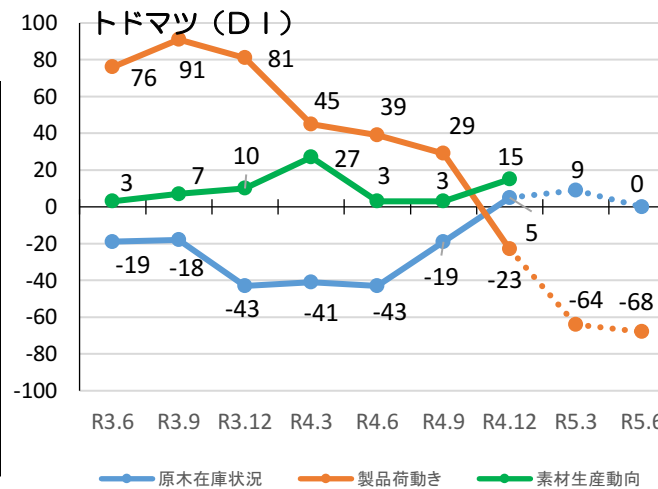
北見地区 (オホーツク)

【トドマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年並み、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を下回る見通し



帯広地区 (十勝・釧路・根室)

【トドマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を上回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく下回る見通し

